

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成28年3月期第3四半期決算短信、プレスリリースなど、当社の近況をご報告させていただきます。株主の皆様には今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

① 平成28年3月期第3四半期 業績ご報告

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による積極的な経済政策等を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。但し、中国経済の減速、新興国の景気低迷への警戒感及び中東情勢への不安感など、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの属する業界も、健康意識の高まりが持続し、昨年4月から食品の新たな機能性表示制度が始まる等大きな変革期を迎えました。但し、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして昨年6月からの機能性表示食品「ヘルスイド® シリーズ」の新発売など積極的な諸施策・諸活動を展開しております。その結果、売上高は7,768百万円と前年同四半期と比べ571百万円の増収となりました。

利益面においては、コストダウン諸施策による原価率の低減により、売上総利益は4,050百万円と前年同四半期と比べ465百万円の増益となりました。また機能性表示食品のタイムリーな広告宣伝を意識した効率的なプロモーション活動を実施したことや人件費の圧縮等に努めた結果、営業利益は150百万円と前年同四半期と比べ336百万円の増益となり、さらに営業外損益を加えた経常利益は160百万円と前年同四半期と比べ325百万円の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は140百万円と前年同四半期と比べ313百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、オーラルケア商品群が低迷したものの、機能性表示食品「ヘルスイド® シリーズ」が堅調に推移しており、その結果、ヘルスケア事業の売上高は4,954百万円と前年同四半期と比べ281百万円の増収となりました。

損益面では、機能性表示食品のプロモーション活動の先行投資的な費用負担は大きいものの、経費の効率化に努力し、セグメント損失は330百万円と前年同四半期と比べ7百万円の減益となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、フレーバーカプセルは引き続き順調に推移したものの、医薬品カプセルやその他の受託は前年同期比落ち込み、その結果、カプセル受託事業の売上高は2,802百万円と前年同四半期と比べ306百万円の増収に留まりました。

損益面では、コストダウン諸施策による原価率の改善や効率的な研究開発投資に努めた結果、セグメント利益は464百万円と前年同四半期と比べ334百万円の増益となりました。

● 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	7,768	7.9	150	-	160	-	140	-
27年3月期第3四半期	7,196	△4.7	△186	-	△165	-	△172	-

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 460百万円(-%) 27年3月期第3四半期 △134百万円(-%)

(平成28年2月9日公表)

● 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期予想	11,000	12.0	470	330.0	450	256.9	400	300.8
27年3月期実績	9,817	△5.0	109	△71.0	126	△69.3	99	△72.8

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無:無

② コーポレートサイト 英語&中国語に対応開始

当社ホームページのリニューアルに伴い進めておりました外国語(英語、中国語)への対応について、ページをUPしましたのでお知らせします。

※各翻訳は主要ページの対応となっております。

また、ページ内でも日本語のままの箇所がございます。(各コンテンツ内容、バナー等)

■ 英語対応ページ

<http://www.jintan.co.jp/en/>



■ 中国語対応ページ

<http://www.jintan.co.jp/cn/>



■ 英語対応ページ



■ 中国語対応ページ

③ カネダ × 森下仁丹が共同開発 話題の“えごま油”入りシームレスカプセル

～酸化しやすいえごま油を守る! えごま油カプセル入りのジャムを2016年度中に発売予定～

独自の「シームレスカプセル技術」で、液体・固体・微生物をカプセル化し、自社商品のみならずカプセル受託事業を行う当社と、創業以来 110 年油の販売を行う素材・原料の専門商社、カネダ株式会社は、えごま油入りのシームレスカプセルを共同開発いたしました。

このたび、当社とカネダは当社のシームレスカプセル技術を応用し、えごま油入りの直径約 1mm のシームレスカプセルを共同開発いたしました。本カプセルの展開第一弾として、カネダでは本カプセル入りのジャムを 2016 年度中に発売いたします。カネダではこれまで多数の油商品を自社製品として販売しておりますが、油以外の加工品の発売は今回が初めてです。えごま油はα-リノレン酸を豊富に含み、美容や健康に良い油として近年注目され需要が高まっています。今回カプセル化をすることで非常に酸化しやすいえごま油を酸化から守り、ジャムに混ぜ込むことで、パンなどと一緒に体内に取り入れることができます。

2016年1月14日(木)に開催しました「新春経済講演会(主催:カネダ)」では発売に先立ち、参加者に粗品として本カプセル入りジャムを配布しました。

当社は、皮膜特性・多層構造・粒径・内容物を自由にデザインできるカプセル技術を活かして、胃酸で溶けずに腸まで届く、

耐酸性ハイパープロテクトカプセル®を用いたビフィズス菌配合サプリメント(機能性表示食品)「ヘルスエイド® ビフィーナ」シリーズを販売しています。また、長年培ったシームレスカプセル技術を応用し、国内外問わず医薬品や健康食品など様々な商品に活用され、カプセル受託事業を拡大しています。

カネダは、明治38年(1905年)の油屋開店以来、「油で培った文化を基に、お客様のベストパートナーとして新しい価値の創造に挑戦します」というビジョンを掲げ、「食・健・美・環境を見据えた商品を提供し、お客様とともに社会の発展に貢献する」ことを目指しています。食品油糧の他に、医薬品、化粧品、化学品、燃料潤滑油、塗料、産業用資材の販売を行っており、「専門商社の集合体」として多様なビジネスフィールドで事業活動を推進しています。

今後も、当社とカネダは、2社の強みを活かし、様々な製品に応用可能な油カプセルを共同開発して参ります。



■商品名:ブルーベリージャム
えごま油がちカプセル入り
※写真はサンプル品です

④ ヘルスエイド® シリーズのご紹介

2016年1月末日時点

機能性の選択肢を増やした

機能性表示食品

これまで機能性を表示できる食品は、特定保健用食品や栄養機能食品に限られていましたが、2015年4月に登場した「機能性表示食品」制度により、機能性を表示した商品の選択肢が増え、消費者の皆さんが正しい情報を得て、目的に合ったものを選んでいただきやすくなりました。「機能性表示食品」として販売するには、科学的根拠や、安全性に関する情報を消費者庁に届出し、受領される必要があります。消費者の皆さんはそれらの届出された情報を、消費者庁のウェブサイトで確認することができます。

※機能性表示食品は、事業者の責任において特定の保健の目的が期待できる旨を表示するものとして消費者庁長官に届出されたものです。ただし、特定保健用食品とは異なり、消費者庁の個別の許可を受けたものではありません。



日常の生活で生じる身体的な疲労感を軽減
還元型コエンザイムQ10

腸内フローラを良好にし便秘を改善
ビフィーナS

腸内フローラを良好にし便秘を改善
ビフィーナEX

腸内フローラを良好にし便秘を改善
ビフィーナシリーズ

皮膚の水分量を高める
ヒアルロン酸

作業などに由来する緊張感を軽減
テアニン

食後血糖値の上昇をゆるやかにサラシア

体脂肪を減らす
ロスヒップ

1日に必要な栄養成分補給に役立つ

栄養機能食品



1011種のビタミンと高配合のミネラルをマルチビタミン&ミネラルEX

摂取により特定の保健の目的が期待できる

特定保健用食品(トクホ)



血圧が高めの方に仁丹のサードンケア®



コレステロールが気になる方にコレステロールファイバー



1日に必要な栄養成分(ビタミン、ミネラルなど)が不足しがちな場合、その補助・補完のために利用できる食品です。すでに科学的根拠が確認された栄養成分を、消費者庁が定めた基準量を含んでいれば、特に届出などをしなくても、国が定めた表現によって機能性を表示することができます。

※食生活は、主食、主菜、副菜を基本に食事のバランスを。

健康の維持増進に役立つことが科学的根拠に基づいて認められ、「コレステロールの吸収を抑える」などの表示が許可されている食品です。効果や安全性については消費者庁が審査を行い、商品ごとにトクホマークと健康機能の表示を許可しています。